

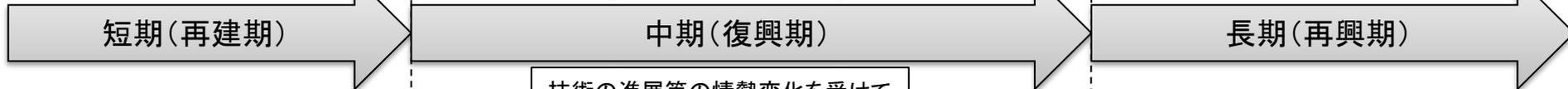
短期、中期、長期の目標の考え方(案)

概ね5年後

10年後

20年後

概ね30年後(=町内が1ミリシーベルト以下になった時点)



技術の進展等の情勢変化を受けて
帰還時期を含めた計画の見直し

帰還困難区域
の見直し

燃料デブリ
取出完了

セシウム137
の半減期

町民一人一人の生活再建

生活再建のめどをつける

生活再建を軌道にのせる

双葉町での生活を再興する

ふるさとへの帰還

一時帰宅を通じてふるさとを身近にする

双葉町へ帰還を果たす

ふるさとの再興

ふるさとの荒廃を防ぐ

除染・インフラ復旧を本格化させる

町内が1ミリシーベルトに低下
双葉町を再興する

町民のきずな

町民のきずなを維持する

避難先と融合した新たなコミュニティを形成する

町民のコミュニティを再興する

歴史・伝統・文化の継承

双葉町の歴史・伝統・文化
を記録する

双葉町の歴史・伝統・文化を継承し続ける

双葉町の歴史・伝統・文化を再興する

【論点】

- ・帰還の時期を放射線量が1ミリシーベルトとなった時点(暫定的に30年後)とすることでよいか
 - ・帰還を全町同時とするか、放射線が低いところから部分的に進めるか
- ※高線量地区を30年後に1ミリシーベルト以下にするためには、相当な除染が必要